

広島県西部東保健所管内(竹原市、東広島市、大崎上島町)の感染症の流行情報

1【最新】令和8年第18週(4月27日～5月3日)

No.	疾患名	西部東保健所管内					広島県	警報・注意報発令基準		
		第15週	第16週	第17週	第18週		第18週			
		(4/6～4/12)	(4/13～4/19)	(4/20～4/26)	(4/27～5/3)		(4/27～5/3)			
		定点当たり		報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	開始基準値	継続基準値	開始基準値
1	急性呼吸器感染症(ARI)	57.75	57.75	57.63	64.50	516	52.15			
2	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	3.75	1.88	1.13	1.63	13	0.60	30	10	10
3	新型コロナウイルス感染症	2.50	1.75	0.75	0.38	3	0.51	13	8	8
4	RSウイルス	1.40	1.00	1.00	0.60	3	0.34			
5	咽頭結膜熱	2.80	1.80	2.20	3.20	16	0.64	3	1	-
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.20	2.40	2.60	4.00	20	2.82	8	4	-
7	感染性胃腸炎	6.00	5.00	2.60	4.20	21	4.18	20	12	-
8	水痘	0.60	0.40	0.00	0.80	4	0.27	2	1	1
9	手足口病	0.00	0.00	0.00	0.20	1	0.39	5	2	-
10	伝染性紅斑	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.07	2	1	-
11	突発性発疹	0.00	0.20	0.60	0.40	2	0.21			
12	ヘルパンギーナ	0.40	0.00	0.00	0.00	0	0.32	6	2	-
13	流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.20	0.00	0	0.02	6	2	3
14	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	1	0.1	-
15	流行性角結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.37	8	4	-
16	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00			
17	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00			
18	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.15			
19	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00			
20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.05			

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症管内発生状況

類別	疾患名	県内報告数	管内報告数
一類	発生なし	0	0
二類	結核	10	1
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	0
四類	E型肝炎	1	0
	日本紅斑熱	1	0
	レジオネラ症	4	0
五類	ウイルス性肝炎	1	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0
	梅毒	2	0
	百日咳	5	0

● 西部東地域の情報 (第18週)

○ 県内の警報発令状況 ○

・現在発令している警報・注意報等はありません。

○ 感染症に注意しましょう ○

・手洗いやうがい、咳エチケットなどの感染予防に御協力をお願いします。

○ 海外へ渡航された皆様へ ○

・感染症には、潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中又は帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。
・症状がある場合は、海外からの帰国後であることをかかりつけ医または医療機関に電話等で伝え、受診の可否や注意点を確認してから、その指示に従ってください。
・医療機関を受診した際は、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて必ず伝えてください。

海外へ渡航される皆様へ | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html

○ 麻しんに注意しましょう ○

○ 麻しん(はしか)とは

・麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染すると一生免疫が持続すると言われています。
・空気感染、飛まつ感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染し、その感染力は非常に強いと言われています。
・感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れ2～3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人程度の割合で脳炎を発症します。

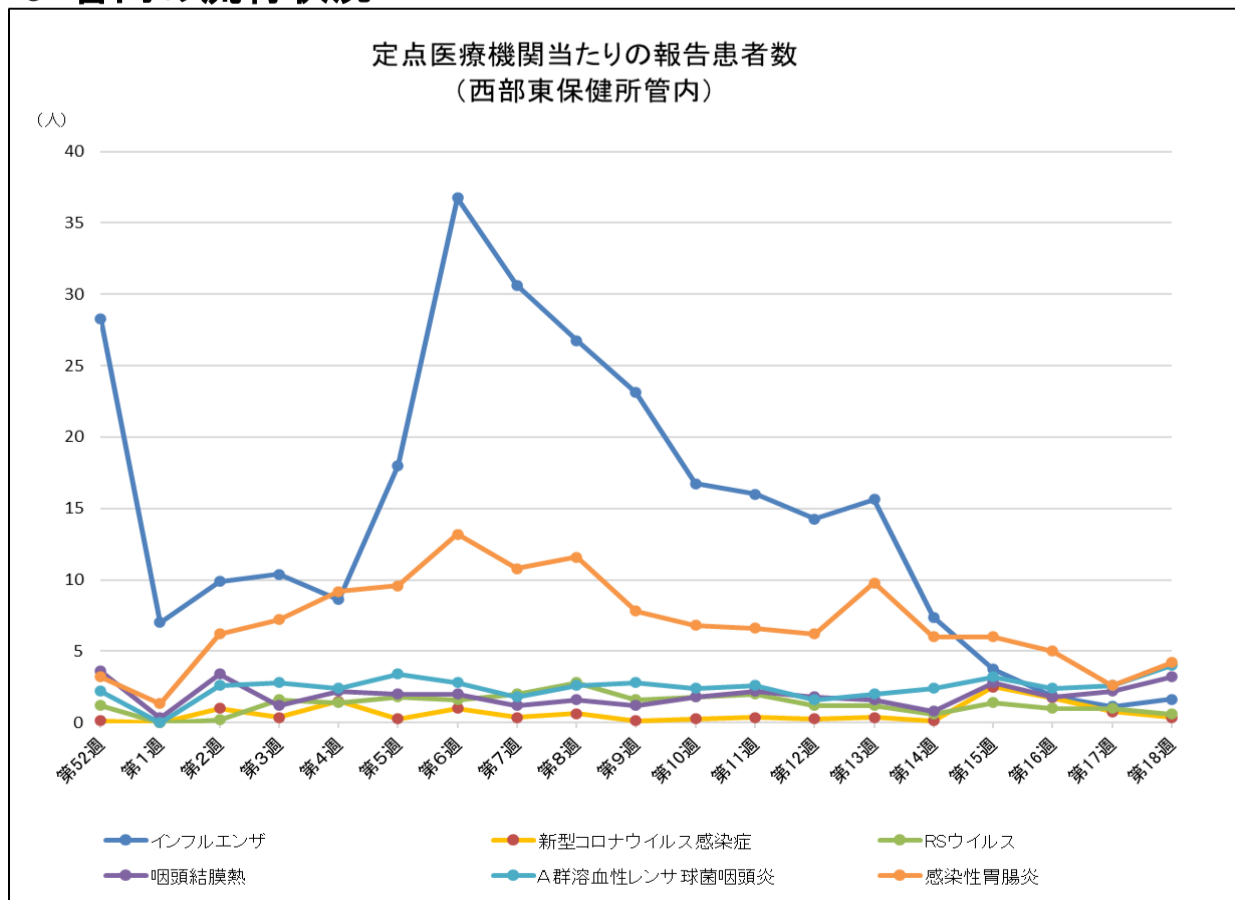
○ 予防方法

・手洗いやマスクだけでは、麻しんを予防することはできません。最も有効な予防法は、麻しん含有ワクチンの接種です。ワクチンを接種することで、95%程度の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができます。
・ワクチンの2回接種によってウイルスを早期に抑えこむことで、発症を防いだり、麻しんにかかったとしても症状を軽くすることが知られています。さらに、周囲の方へ感染を広げてしまうリスクも下げることができます。

麻しん(はしか) | 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

3 管内の流行状況



※「定点当たり患者報告数」とは、広島県が指定した医療機関(定点医療機関)から1週間ごとに報告される患者数を、定点医療機関数(西部東保健所:10)で割った値のことです。